

第 3 回 国産野菜の生産・利用拡大優良事業者表彰 農林水産大臣賞の概要

農林水産大臣賞

受賞グループ名	J A 利根沼田久呂保レタス部会契約取引グループ	都道府県 (生産者)	群馬県昭和村
取組事項	三者が連携した加工・業務用レタスの高品質・安定供給体制を構築 流通関係者の中間的調整機能により生産者と実需者のミスマッチを回避 ～流通関係者は生産者とは数量契約、実需者とは重量契約を実施～		
主な活動	<p>1. 契約取引の実践 J A 利根沼田久呂保レタス部会は、標高300メートルから800メートルまでの準高冷産地において、加工・業務向けに適した大玉レタスを基本とした生産を実施。以前は市場出荷中心であったが、天候・相場等の要因により収益が安定しないため、安定した所得が確保できるような契約取引の実践について検討。 一方、既に(株)サラダクラブと契約取引を行っていたMCプロデュース(株)は、レタスの周年的な供給経路を構築するため、夏期の加工用レタスの産地を求めていたところ。三者のニーズが一致した結果、9年前から書面による契約を締結し、取引を開始。</p> <p>2. J A 利根沼田久呂保レタス部会の取組 本グループ向けの生産者四名を選抜してレタス栽培を推進。余裕のある作付及び栽培時期やほ場の条件等に合わせた品種選定により、品質・数量の確保を実践。</p> <p>3. MCプロデュース(株)の取組 中間事業者として、商品ニーズや産地状況等の必要な情報を適宜収集・伝達し、過不足等に対処することで円滑な取引を実現。また、納品においては重量(kg)での納品形態に転換することにより歩留まり率を安定させ、出荷数量等の中間的調整機能を発揮。</p> <p>4. (株)サラダクラブの取組 原料の入荷から製品出荷まで、徹底したコールドチェーンにより工程管理・品質管理を行っており、商品の鮮度・安全を確保。また、担当者が産地を訪問し、情報交換を行うことで、産地状況の確認及び信頼関係の醸成を実践。</p> <p>以上の三者の取組により、三者が連携して加工・業務用レタスの高品質・安定供給体制を構築。</p>		
評価事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生産者と流通関係者の長年にわたる契約取引（9年間）によって、加工・業務向けの取引量が着実に増加。 ・ 担当生産者の選抜（四名）による意識・責任の明確化。 ・ 加工・業務向けに適した大玉レタスを基本とした生産。 ・ 中間的調整機能を発揮した安定仕入・安定供給体制の確立。 ・ 納品方式をケース納品から重量納品に変更。 ・ 歩留まり率向上のため、生鮮用とは異なる外葉の基準を設定。 ・ 原料の入荷から製品出荷まで徹底したコールドチェーンの確立。 ・ 新商品の開発と徹底した品質管理。 		

第3回 国産野菜の生産・利用拡大優良事業者表彰 生産局長賞の概要

生産局長賞

受賞グループ名	金印国産本わさび契約栽培グループ	都道府県 (生産者)	北海道大空町
取組事項	長期的な視点に立った産地育成と安定的な供給体制の確立		
主な活動	<ol style="list-style-type: none"> 1. 女満別本わさび生産部会と金印(株)の二者が連携してサプライチェーンを構築し、加工・業務用本わさびの安定供給を推進し、全国的な産地に発展。 2. 7年間にわたる十分な試験を重ねて栽培技術を確立し、栽培が困難な北海道での安定的な生産を実現。 3. その後も栽培の労力・コスト低減のため、ほとんど機械化がされていない収穫作業の機械化を実現。また、二者間の情報交換によりニーズの把握に努め、栽培履歴の提出や産地に近接した加工場により鮮度・安全性の確保に取組。 		
評価事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ 7年間の試験栽培により栽培技術を確立し、産地を育成。 ・ 土壌分析により適切な堆肥利用を推進し、栽培コストを低減。 ・ 苗の栽培技術の改善により、病害の低減及び収量増加を実現。 ・ 産地に適した掘り取り機（デガー）の開発により労力を低減。 ・ 生産者の栽培・管理状況をデータ化し、均一的な管理方法を構築・実施。 ・ 原料の当日入庫を厳格に実施し、鮮度を確保。 		

生産局長賞

受賞グループ名	全農いばらき 加工・業務用契約取引グループ	都道府県 (生産者)	茨城県下妻市
取組事項	三者連携の強化により長期的なWin-Winの関係を構築		
主な活動	<ol style="list-style-type: none"> 1. 三者連携の強化により、実需者ニーズに適した加工・業務用長なすの安定的な供給経路を構築。 2. 三者それぞれが、契約数量の確保や流通経費の低減等のため、様々な対策を講じることにより、7年間にわたる契約取引を実施しており、20年度の出荷数量は、18年度の2倍以上に拡大。 		
評価事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ 三者の強力な連携により7年間にわたる契約取引を実施。 ・ 流通経費削減のため、加工・業務用に適した出荷形態を導入。 ・ 長期安定的出荷を可能とする栽培技術を導入。 ・ 県外の他産地との連携による周年安定供給の体制を整備。 ・ 規格の簡素化等により出荷労力が軽減した分、作付規模の拡大が図られ、収益が向上。 ・ 高齢農家では、少ない労力でも一定の収益が確保され、持続可能な農業経営を維持。 		

生産局長賞

受賞グループ名	Farm to Wellness 倶楽部	都道府県 (生産者)	茨城県小美玉市 茨城県茨城町
取組事項	生産者と実需者の情報の循環化により安定供給力を強化		
主な活動	<ol style="list-style-type: none"> 1. 生産者と実需者の情報を共有化し、両者の意思疎通を図ることで、目的意識や目標統一(安全性の確保等)を行うことにより、両者のミスマッチを回避し、小松菜、にら、水菜の安定的な供給経路の構築を実践。 2. 特に、安全性の確保については、強力に推進しており、野菜生産工程管理を導入。また、生産者側にあつては、単なる生産ではなく、流通業務と生産業務を峻別した対応により、戦略的な生産・出荷を実践。 		
評価事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生産者と実需者の情報の共有化等によりミスマッチを回避。 ・ 安全性の確保に向けた意思疎通の徹底と対策の実施。 ・ 流通関係者が産地の分散化を図り、契約数量の確保に取組。 ・ 安全性の確保から野菜生産工程管理等を全ての生産者が導入。 ・ 生産者側では、生産者が組織化され、実需者のニーズに対応した出荷が可能となる体制を整備。 		

生産局長賞

受賞グループ名	J A 全農しが・カルビー湖南株式会社	都道府県 (生産者)	滋賀県大津市
取組事項	大手メーカーと連携したサプライチェーン構築と地場産商品の開発・販売		
主な活動	<ol style="list-style-type: none"> 1. 全農滋賀県本部が20年度より県内の複数の産地を束ね、カルビー湖南(株)とポテトチップス用の原料じゃがいものサプライチェーンを構築し、水田農業地域における新たな所得の確保を図るため、契約取引を実施。 2. 栽培面においては、両方で栽培体系やコスト削減について協議・検討を行っており、両者が協議しつつ、栽培体系の確立に向けた現地検討会等を開催し、品質向上に取組。 3. カルビー湖南(株)では、全農滋賀県本部を含む複数の産地との契約取引により、全国的で周年的なサプライチェーンを構築するとともに、貯蔵庫を整備し、原材料を保有することで、一般的には、生産者がリスクを負う契約数量の確保のリスクを実需者が回避する形態を構築。 4. このようなサプライチェーンの体制の下で、地場産原料を使った商品「しがじゃが」を開発・販売し、地産地消に貢献。 		
評価事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ 水田農業地域において、本取組により安心して野菜栽培を行える環境を提供。 ・ グループの原料を使った商品を開発・販売し、地産地消に貢献。 ・ マーケティング担当の育成・資質向上のため、研修等に積極的に参加。 		

生産局長賞

受賞グループ名	高知園芸連・横浜丸中青果・秋本食品グループ	都道府県 (生産者)	高知県高知市
取組事項	三者連携した安定供給を図るため、三者それぞれの機能を強化		
主な活動	<ol style="list-style-type: none"> 生産者・中間事業者・食品製造業者の三者が強力に連携したサプライチェーンを構築し、加工・業務用の国産きゅうりの周年的な安定供給を推進。 三者それぞれが、国産原材料の安定供給に向けた意識が高く、韓国産原料から国産化へのシフトを図るため、商品原価の低減が可能となるよう三者が協議の上、商品にあった規格の統一、JR輸送による産地直送の定時便化により流通経費の削減を実践。 		
評価事項	<ul style="list-style-type: none"> 厳寒期での数量確保を図るため、加温設備のある大型ハウスの活用。 定期的な現地検討会での高度な栽培技術の普及。 加工・業務用規格の導入により出荷数量を増加。 業務用向けの通いコンテナを開発し、品質向上・低コスト化を推進。 JR輸送の導入により流通経費を削減。 消費動向調査を踏まえ、国産原料をアピールした新商品の開発。 契約指定野菜安定供給事業制度の活用によりリスク軽減を実施。 		

生産局長賞

受賞グループ名	J A ごとう高菜部会	都道府県 (生産者)	長崎県五島市
取組事項	計画栽培に基づく全量契約及びニーズに応じた一次加工による安定供給		
主な活動	<ol style="list-style-type: none"> ごとう農業協同組合と株式会社オニマルの二者が連携してサプライチェーンを構築し、塩蔵高菜の安定供給を推進。生産者から全量買取のため、生産者は安心して生産に取り組む、収益が増加。 高菜について、全量契約及び使用予定量・出荷時期に基づいた栽培により安定供給に努めるとともに、部会において栽培講習会を開催し、栽培技術の向上化を推進。また、実需者ニーズに応じて塩蔵加工を行い、加工専任者の設置及び目揃え会等により品質を確保。 安全面では、減農薬・減化学肥料栽培の実施及び栽培履歴の記帳等により、安全性を確保。 		
評価事項	<ul style="list-style-type: none"> 綿密な栽培協議に基づく全量契約を実施。 一次加工（塩蔵）による実需者ニーズに合わせた形態での出荷。 実需者から加工専任者への技術指導を行い塩蔵の品質を確保。 		

第3回 国産野菜の生産・利用拡大優良事業者表彰 (独)農畜産業振興機構理事長賞の概要

(独)農畜産業振興機構理事長賞

受賞グループ名	マルマサフード国産野菜供給・利用協議会	都道府県 (生産者)	茨城県古河市
取組事項	生産・流通・実需の三者連携によりニーズに合わせた生産・出荷を推進		
主な活動	<ol style="list-style-type: none"> 1. 流通関係者である(有)サンワアグリビジネスが核となり、三者連携によるレタスをカット野菜の原料として契約取引の供給経路を構築。 2. 生産面については、ユーザーへの規格や用途のヒヤリングに基づく作付とともに、歩留まりを重視した品種選定や栽培管理を実施。 3. 流通面では、通いコンテナの利用により流通コストの低減を図るとともに、国産野菜の利用拡大と販売促進に向けたサプライチェーンを強化。 		
評価事項	<ul style="list-style-type: none"> ・最終実需者の国産野菜へのニーズに対応できるサプライチェーンを強化し、国産野菜の消費拡大に向けた取組を実施。 ・規格外ロスを最小限に抑えた製品率、収益率の向上化を推進。 ・GAPの導入により安全性の確保に向けた体制づくりを推進。 ・契約野菜安定供給制度について、今後の活用が見込まれる。 		

(独)農畜産業振興機構理事長賞

受賞グループ名	レタス周年リレー供給契約取引グループ	都道府県 (生産者)	茨城県八千代町 長野県川上村 熊本県八代市
取組事項	生産者・流通業者・実需者の三者連携と産地リレーによる周年安定供給		
主な活動	<ol style="list-style-type: none"> 1. 流通業者である丸西産業(株)が実需者からの「受注生産型農業」を推進するため、全国的な産地リレーによるレタスの周年供給体制を構築。 2. 生産者・流通業者・実需者の三者が強力な連携により、品質基準の統一、トレーサビリティシステムの導入等を実施。生産者にとっては、今後、需要が増大する加工・業務用を対象とする生産転換等により、大規模な法人経営を実践。契約取引による安定的な収益を確保し、実需者の需要に即した生産を実践。収量の安定のため、時期別・気候パターンごとに対応した品種を作付。 3. 三者の流通経費を軽減するため、通いコンテナ出荷を導入するほか、流通業者にとっては、安全面で生産履歴の提出及び残留農薬・害虫食害の検査を行い、その結果を生産者にフィードバック。 		
評価事項	<ul style="list-style-type: none"> ・三者（生産・流通・実需）が相互に連携しつつ、国産レタスの産地リレーが可能となる周年安定供給の体制を構築。 ・本グループによるレタスの契約取引量は年々増加し、国産野菜の生産・利用拡大に寄与。 ・契約野菜安定供給制度について、今後の活用が見込まれる。 		

(独)農畜産業振興機構理事長賞

受賞グループ名	セブン-イレブン 新潟県津南町産アスパラガス調達グループ	都道府県 (生産者)	新潟県津南町
取組事項	アスパラガスの生産・流通に関わるコスト低減及び安全・安心な提供の実施		
主な活動	<ol style="list-style-type: none">1. 生産者・流通関係者・実需者の三者が強力に連携して、惣菜・漬物原料等としてアスパラガスの契約取引を実践。2. 生産面については、土作りによる品質向上のほか、規格の設定や栽培指導を行い栽培体系を統一して、均質化を図るとともに、真空冷却装置による鮮度保持を推進。3. 流通面では、発泡スチロール箱・袋詰め納品からダンボール箱によるバラ納品に変更し、労力・流通経費の低減化を推進。4. 安全面では、残留農薬検査や栽培履歴の提出により安全性の確保を推進。		
評価事項	<ul style="list-style-type: none">・実需者の輸入アスパラガスから国産品に切り替えるのを契機に安全性の確保に努めている産地との契約取引を実施。・流通コスト低減に向けた、出荷規格の簡素化、出荷資材の変更などの取組を実施。・安全性を確保するため、栽培履歴記帳の取組の徹底や残留農薬検査を実施。・契約野菜安定供給制度について、今後の活用が見込まれる。		

(独)農畜産業振興機構理事長賞

受賞グループ名	魚住・清浄野菜レタス生産グループ	都道府県 (生産者)	兵庫県明石市
取組事項	長年の契約取引による安定供給と消費者の食の安全・安心に対応		
主な活動	<ol style="list-style-type: none">1. 加工用レタスについて、生産者と実需者が二者で連携して通算34年間の契約取引を実施。2. 生産面については、出荷時期から逆算した栽培や加工・業務用に適した品種・規格の導入により安定供給に努めるとともに、基準の設定及び協議会・目揃い会による品質を確保。3. 流通面では、通いコンテナの利用や輸送の集約により流通コストの削減を推進。両者で情報交換や工場・産地見学等により、信頼関係を確保。		
評価事項	<ul style="list-style-type: none">・長期の年数にわたり安定した契約出荷取引を実施。・輸入野菜に頼らない国産野菜の安定供給の体制を構築。・契約野菜安定供給制度について、今後の活用が見込まれる。		

(独)農畜産業振興機構理事長賞

受賞グループ名	新福青果 & 関東屋またの食品 ほ場丸ごと加工PJ	都道府県 (生産者)	宮崎県都城市
取組事項	規格外品の活用、定期的な情報交換等により圃場廃棄ゼロを確立		
主な活動	<ol style="list-style-type: none"> 1. キャベツ、だいこんについて、生産者と実需者の二者での連携による契約取引を実施。 2. 生産面については、県内の複数の産地・農業法人の連携と作付から販売までの一元的な計画・管理体制を構築し、安定供給を推進。 3. 流通面では、加工施設の共同利用や共同出荷体制の確立により流通コストの低減を図るとともに、規格外品を利用した加工品の開発・販売により全量出荷を実践。 4. 安全面では、GAP導入を推進するとともに栽培履歴の記帳等を行い、安全性を確保。 		
評価事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生産者は、他の農業法人との連携により、実需者ニーズに対応した野菜を周年で安定的に確保・調達しながら契約取引を実践。 ・ 生産者と実需者は、農産物の規格外品の活用、定期的な情報交換等を行なうことにより、ほ場での廃棄ゼロを実践。 ・ 契約野菜安定供給制度について、今後の活用が見込まれる。 		

(独)農畜産業振興機構理事長賞

受賞グループ名	有田農産大根・キャベツグループ	都道府県 (生産者)	鹿児島県大崎町
取組事項	だいこん・キャベツ等の機械化一貫体系の導入による大規模経営		
主な活動	<ol style="list-style-type: none"> 1. だいこん・キャベツについて、生産者と実需者の二者で連携してカット野菜原料等として契約取引を実施。 2. 生産面については、工程表に基づいた栽培により安定供給に努めるとともに、毎週全ほ場を巡回して品質・生育状況を確認し、品質を維持。また、土壌分析に基づく肥培管理及び作業の効率化により労力・コストの低減化を推進。 3. 流通面では、品目毎にグループ化して責任者を置き、実需者と品質・規格・出荷時期の協議を行い、生産現場に反映。安全面では、「かごしまの農林水産物認証 (K-GAP)」に基づき残留農薬検査等を行い安全性を確保。 		
評価事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本グループは、県内の生産者に対して、今後の加工・業務用国産野菜の生産拡大に向けた先進的事例と位置づけ。 ・ 生産者自らが、一次加工処理施設を整備し、廃棄物を発生させないという実需者ニーズに対応。 ・ 機械化一貫体系の導入による加工用野菜の大規模経営を実践。 ・ 契約野菜安定供給制度について、今後の活用が見込まれる。 		